

## 2006 年度 技術系職員研修発表会 発表報告書

### 「基礎化学実験科目における安全教育の為のビデオ制作」

理工学部基礎教室 宗 潤子  
森 美穂

近年、大学教育において、危機管理体制の充実と安全管理対策、環境保全対策が急務となっており、環境・安全教育の重要性が問われている。そこで、平成 17 年度学事振興資金による研究補助を受け、理工学部 1, 2 年生を対象に基礎系化学実験室における安全教育の為のビデオを制作した。本ビデオは基礎教室の実験ガイダンス時に上映することを主な目的としており、さらに、学生が個々に自宅でも安全学習をすることができるよう、Web 上での公開やメディアの貸し出しを行うことも計画している。

内容は以下の項目から構成されている。

- ・実験室内での諸注意について  
服装、保護メガネ着用、履物の注意、携帯電話・飲食等の禁止事項、ロッカーの使用方法
- ・実験器具の扱い方について  
ガラス器具の種類と洗浄方法、メスフラスコ・ピペット・ビュレットなど測容器の種類と測定方法、ビペッターの種類と使用方法
- ・薬品の扱い方  
薬品の管理と扱い方などの諸注意、インターネットにより薬品の情報検索を行う方法、天秤の秤量方法
- ・環境・廃棄物について  
実験室から排出されるごみの分別回収、分別回収による実験系廃液と理工学部が行っている廃液回収の様子、大学敷地内の排水溝の水質検査など
- ・緊急時、災害時について  
火災発生時と地震発生時の対応、避難経路、集合場所、救急箱、消火器の取り扱い方、緊急用シャワー、洗眼器について
- ・慶應義塾大学環境保全センター所長 西山 繁教授から 1, 2 年生へ  
“ 21 世紀の大学がなすべき環境問題について ”

以上、ビデオを制作したことにより、実験ガイダンス時に行っていた安全教育を行う教員の負担を軽減するばかりでなく、インパクトある画像により視覚からの認識を訴える事ができるようになると考えられる。また学生が貸し出されたビデオで学習することにより、理解し難かった実験操作についての復習がしやすくなると考えられる。

今後は、さらなる内容の充実を図り、より高度なビデオの制作技術を習得できればと考えている。